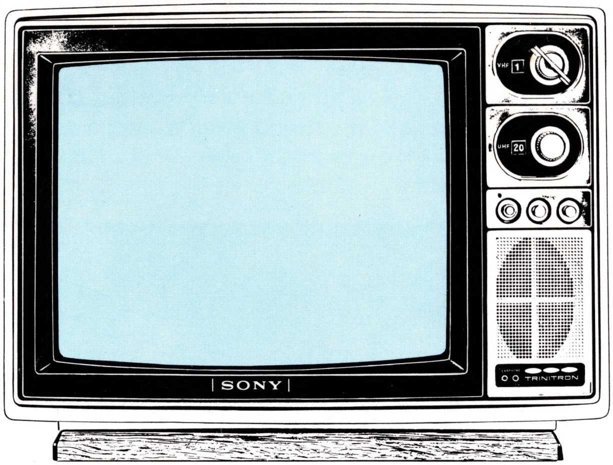
トリニトロンカラー
KV-1850
正しい使い方



ソニートリニトロンカラーテレビをお選びいただきありがとうございます。

● 114°広角トリニトロンブラウン管採用
画質がさらに向上、鮮やかなキメ細かい画像をお楽しみください。

● コンパクトなデザイン
横型コンパクトタイプで、奥行が狭く、小さなスペースで18型画面をご覧いただけます。

● 見やすい画面
スクリーンはすみが欠けない直角型、画面が大きくみえます。また、ソニー独自の円筒型ブラウン管ですから、外部光線の反射を防ぎ目に負担をかけません。

● 簡単な操作
カラーとファインチューニング（微調整）は自動ですので、簡単な操作で、美しいカラーと安定した画像をお楽しみいただけます。

● 新半導体G·C·S採用
広角化に伴う消費電力の増大を、新半導体G·C·Sの採用でおさえることができました。

どうぞ、この説明書をお読みになり、正しい使いかたでトリニトロンをご愛用ください。

目次

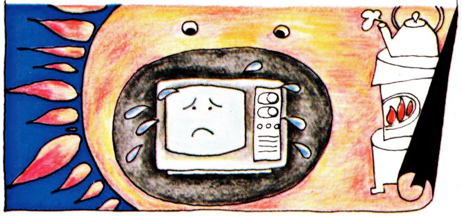
ご注意……2
各部の名称……3
テレビをご覧になるには……4
手動調整でご覧になるには……6
修理を依頼する前に……7
アンテナについて……9
アフターサービスと保証書について……10
114°広角トリニトロンの特長……11
主な規格……12
別売アクセサリー……12

ご注意

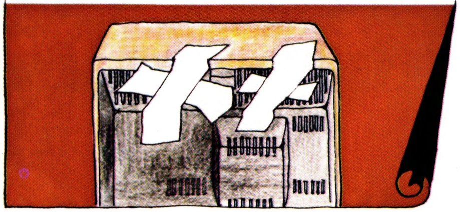
テレビセットから皆様へのお願い

このたびは、私をお選びいただきありがとうございました。
この先、末長くおそばに置いていただき、すばらしい画面を楽しんでいただくために、次の注意をおまもりください。

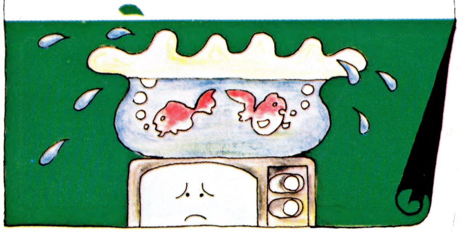
私は、高温、多湿、ほこりが苦手です。
ストーブのそば、直射日光のあたる場所、ほこりの多い所などを避けて置いてください。



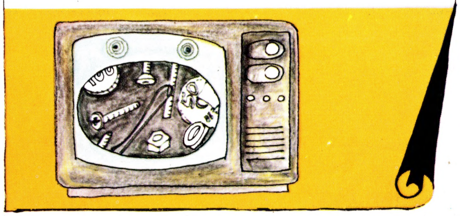
私の通風孔は、大切な働きをします。
通風孔がふさがれてしまうと内部の温度が上昇して故障の原因となります。
通風孔をふさがないよう、壁から離して置いてください。また、上に厚手の布をかけたりしないでください。



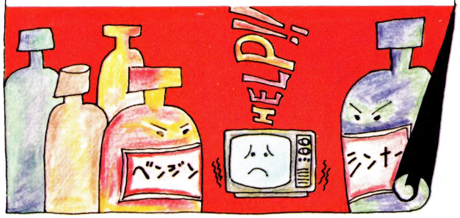
私に水は禁物です。
上面に水のはいった花びんやコップなどを置かないでください。内部に水がこぼれると故障の原因となります。



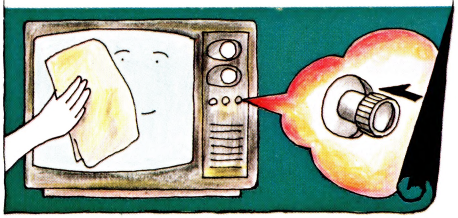
私は、ゴミ箱ではありません。
通風孔から内部へ、紙片や、電気を通す金属片（コイン、ヘヤーピンなど）を落とさないでください。
異物が入ると、故障の原因となります。



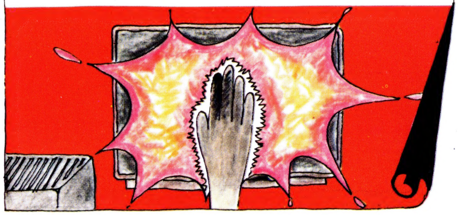
私のキャビネットは、シンナーやベンジンなどの化学薬品を嫌います。
キャビネットの汚れは柔らかい布でふきとってください。シンナー、ベンジンなどは仕上げをいためますので、使わないでください。



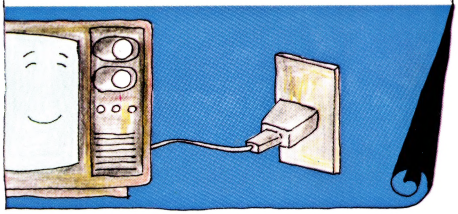
私のブラウン管表面は、電源スイッチが入ると弱い電気（静電気）を帯びます。
人体に危険はありませんが、ブラウン管表面をふく時は、まず電源スイッチを切りましょう。



私の内部には、高電圧部分があります。
危険ですので、裏ぶたをはずしたりしないでください。

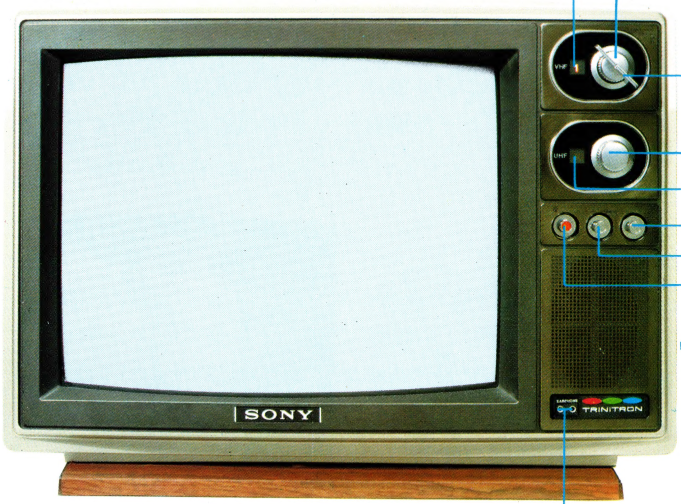


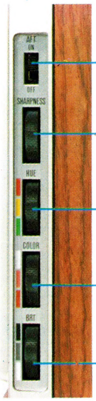
私はクイックスタート方式のテレビです。
わずかな電流で、常にブラウン管を予熱(プレヒート)しておき、電源スイッチが入ると同時に画と音をお届けします。そのため、電源コードはご家庭のコンセントにつないだままにしてください。ただし、長期間ご覧にならない場合は、コードを抜いておいてください。



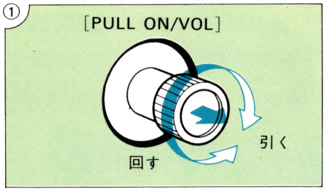
このテレビセットは日本国内用ですので、電源電圧、放送規格の異なる外国ではご使用になれません。

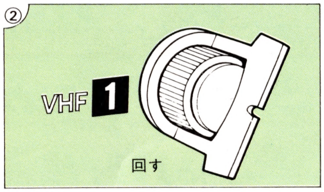
各部の名称

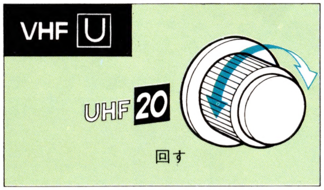


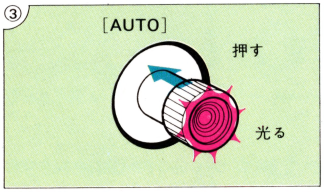


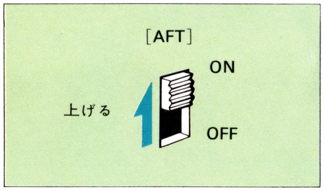
[・]……イヤホンだけから聞こえます。
[・・]……イヤホンとスピーカーから聞こえます。
テレビの音声を録音することもできます。詳しくはテープレコーダーの説明書をご覧ください。











①**電源スイッチ／音量つまみ**を手前に引きます。

あらかじめ電源コードをコンセントにつなぎ、ブラウン管を予熱しておくと、電源スイッチを入れると同時に画と音がでてきます。

そのまま右に回すと音が大きくなりますので、お望みの音量にしてください。(電源を切るときはつまみを押してください。)

②VHF放送をご覧になるときは、**VHFチャンネルつまみ**を回し、お望みのチャンネル番号（1〜12）をチャンネル表示窓に出します。

UHF放送をご覧になるときは、**VHFチャンネルつまみ**を［U］にし、**UHFチャンネルつまみ**を回してお望みのチャンネル番号に近い数字（13〜62）をチャンネル表示窓に出します。

お望みの番組が画面に出るまで、チャンネルつまみをさらに細かく回してください。

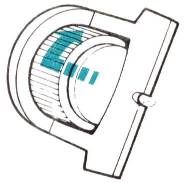
③**オートスイッチ**を押します。

スイッチのランプが光り、カラーが自動調整になっていることを示します。(もう一度押すとランプが消え、カラーの自動調整がきれたことを示します。カラーの手動調整は通常必要ありませんが、特にお好みの色でご覧になりたいときは6ページをご参照ください。)

AFTスイッチがON側に上がっていることを確かめてください。AFT（自動微調整）が働いて安定した画面を保ちますので、通常はこの状態にしておきます。(電波状態が悪く画面が乱れる場合は、スイッチをOFF側に下げてから調整すると良くなることがあります。6ページをご参照ください。)

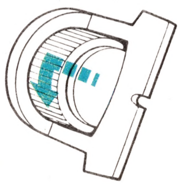
④きれいな画面でVHF放送をご覧になるためには、**VHFファインチューニング（微調整）つまみ**の調節が大切です。

つまみを押しこんだまま右に回します。



カラー画面に縞模様が出たら

つまみを押しこんだまま左に回します。



縞模様が消えたところで手を離します。

この方法で受像チャンネルを全てチャンネルごとに一度調節しておくと、あとはチャンネルつまみを回すだけ、ファインチューニングつまみを回す必要はありません。

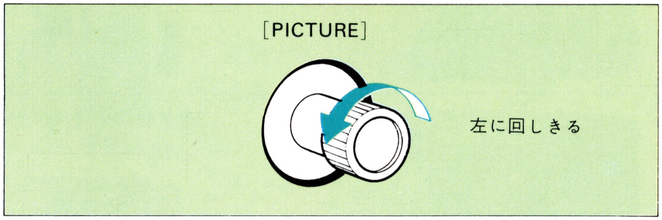
UHF放送の場合は、縞模様を目やすに**UHFチャンネルつまみ**

を細かくまわし、きれいな画面にします。

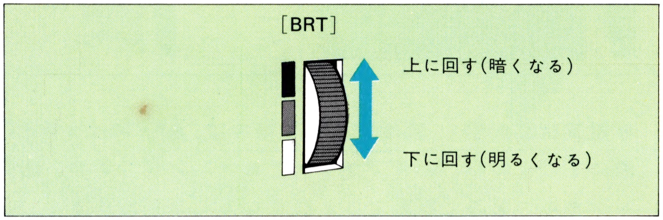
⑤ピクチャーつまみと明るさつまみ

はじめに明るさつまみで明るさを調節しておくと、あとはピクチャーつまみだけでカラー、コントラスト、明るさが同時に調節できます。

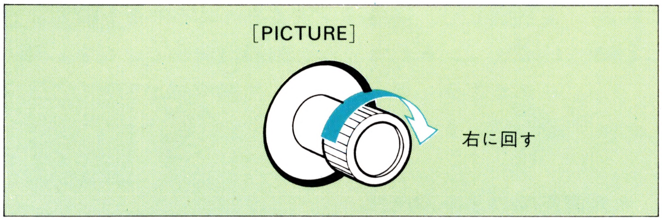
(1)ピクチャーつまみをいちばん左に回しきっておく。



(2)明るさの調節をする。明るさの目安として、例えば、髪の毛などが自然に見える程度の明るさにする。

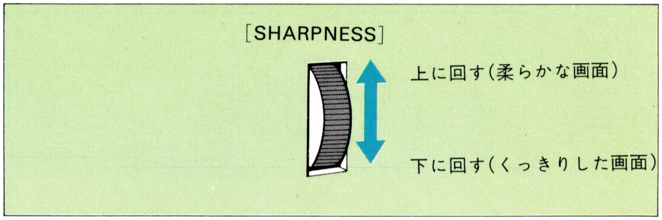


(3)もう一度ピクチャーつまみを右に回して、部屋の明るさに応じて好みの画面に仕上げる。



⑥鮮明度調節つまみ

画面が強すぎると感じるとき、電波の弱い地域や、建物のかげなどで雪が降ったようにチラチラした画面が出る場合は、上に回して柔らかな画面にしたほうがよいでしょう。

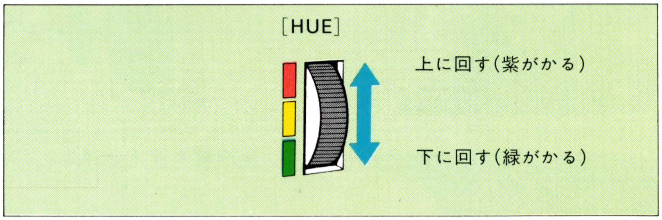


●色あいつまみとカラーつまみ

自動調整の場合は、調節する必要はほとんどありませんが、特にきめ細かく調節したいときには次のようにします。

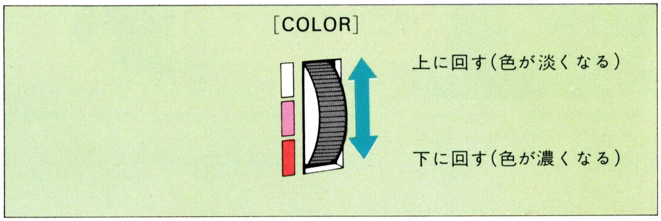
肌が紫がかっているとき、下に回す。

肌が緑がかっているとき、上に回す。



色が薄すぎるとき、下に回す。

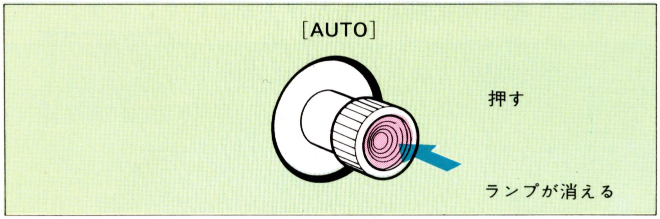
色が濃すぎるとき、上に回す。



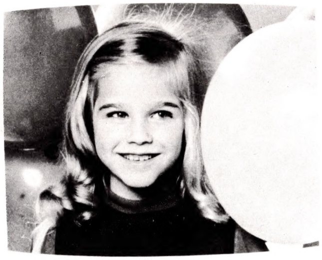
● 白黒番組もカラー番組と同じ操作でご覧になれますが、カラーつまみ、色あいつまみは関係ありません。

手動調整でご覧になるには

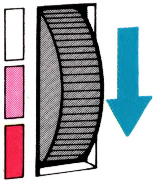
● 自動調整では特に見にくい色調のときや、もっとお好みの色でご覧になりたいときは、**オートスイッチ**を押して、ランプが消えるのを確かめてから次のように調節してください。



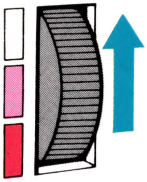
カラーつまみで色の濃淡を調節します。



色がつかないときは
下へ回す

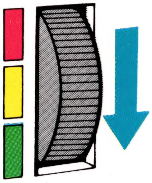


色が濃すぎるときは
上へ回す

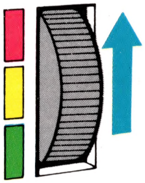


色あいつまみで肌が自然な色になるよう調節します。

紫がかるときは
下へ回す



緑がかるときは
上へ回す



● 電波状態が悪く、画面が乱れる場合は、**AFTスイッチ**をOFF側に下げてから、**VHFファインチューニングつまみ**、**UHFチャンネルつまみ**で調節すると良くなることがあります。

VHF：ファインチューニングつまみを押しこんだまま右に回し、カラー画面に縞模様がでたら、つぎに押しこんだまま左に回して、縞模様が消えたところで手を離します。

UHF：UHFチャンネルつまみを縞模様がつくまで右に回し、そのまま少しずつ左に回して縞模様が消えたところで手を離します。

● **垂直同期つまみ**［**VER**］

画面が上下に分かれたり、流れる場合は、テレビ裏面の垂直同期つまみを回して調節します。

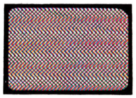
画面が上から下へ流れる場合は左に回します。

画面が下から上へ流れる場合は右に回します。

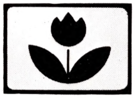
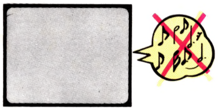
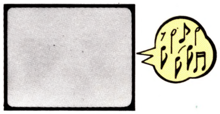
修理を依頼する前に

“テレビの調子が悪い。故障かな。修理に出さなくては……”ちょっとお待ちください。調子が悪い時、即、故障であるとお考えになる前に、まず故障かどうか点検なさってみてください。特に**ファインチューニングつまみの調節**と、**アンテナやフィーダー、同軸ケーブルの接続**をポイントに、お確かめください。以下の処置で直らない場合は、電源コードをコンセントから抜いて、添付の「サービス窓口のしおり」にあるソニーサービスセンターなど、またはお買い上げ店にご相談ください。

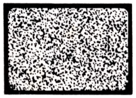
セットの点検――あるチャンネルだけおかしいとき

	画面が暗く画が出ない しま模様がでる	ファインチューニングつまみを押しながら、画面がきれいになるまで左へ↶まわしてください。
	画がぼやける 色がつかない 画面がチラチラする	ファインチューニングつまみを押しながら、画面がきれいになるまで右へ↷まわしてください。
	その他	UHF放送の場合、チャンネルは正しく選局されていますか？

セットの点検――どのチャンネルもおかしいとき

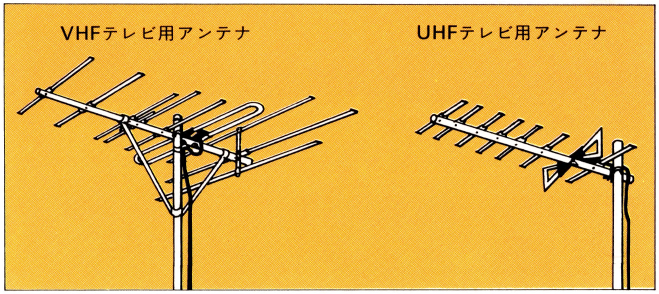
	色がつかない	オートランプはついていますか？ AFTスイッチはON側にありますか？ カラーつまみを下へ回してください。
	画も音も出ない	電源コードがはずれていませんか？
	音は出るが画が出ない	ピクチャーつまみを右へ、明るさつまみを下へ回してください。

アンテナ系が悪いとき——お買い上げ店にご相談ください。

	雪が降ったような画面になる	アンテナやフィーダなどの接続が悪い場合に生じることがあります。アンテナ、フィーダー、同軸ケーブルを正しく接続してください。VHF用300Ω／75Ω切換金具の位置をお確かめください。
	画が二重、三重になる	山かげやビルの谷間などで電波が反射して生じることがあります。アンテナの位置、方向、角度を調節すると直る場合があります。
	画面全体に、はん点が出たり点模様が走る	ヘヤードライヤー、自動車、オートバイなどから出る雑音電波によって生じることがあります。

アンテナについて

VHF放送にはVHF専用アンテナを、UHF放送にはUHF専用アンテナをお使いください。(VHF放送の場合、白黒テレビ用アンテナでもご覧いただけますが、理想的なカラー画面を得るにはカラー専用の屋外アンテナをおすすめします。)



放送局に近いところや受信状態の良い地域でしたら、室内アンテナでも十分ご覧になれます。別売のソニー室内アンテナ、AN 22-J2 (VHF用)、AN-55E (UHF用)をおすすめします。

アンテナ線のつなぎかた

●VHF300Ωフィーダーや UHFメガネフィーダーを直接つなぐ場合

①フィーダーの絶縁体の部分をはがし、中の芯線を出す。

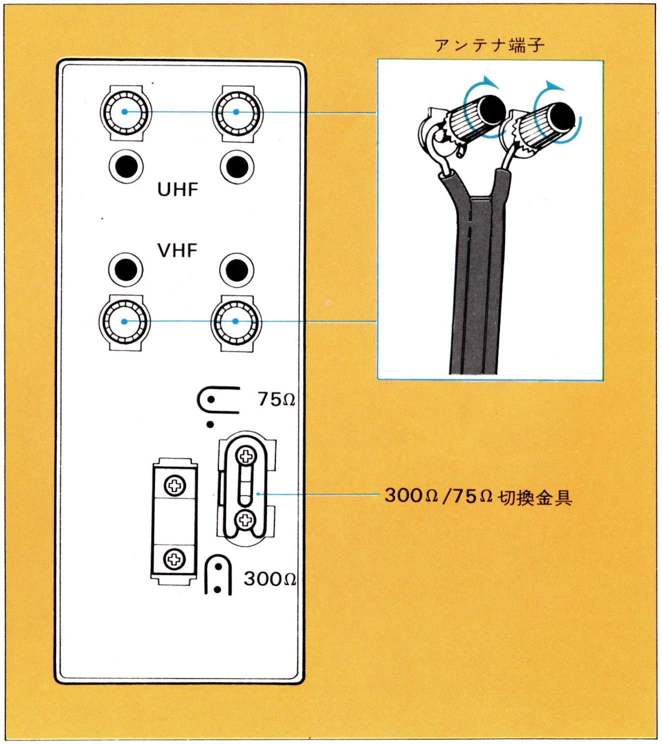
②アンテナ端子のネジをゆるめ、ネジの軸に芯線をまきつける。

③ネジをしっかりしめる。

VHF放送受信に300Ωフィーダー使用のとき、300Ω/75Ω切換金具が下側(300Ω)にあること、金具のネジがしっかりしまっていることを確かめてください。

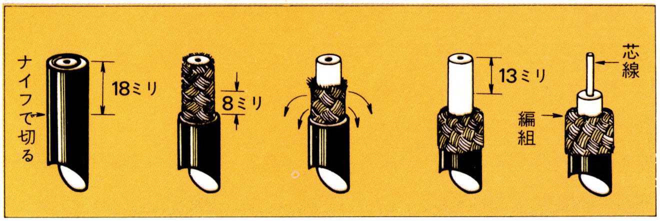
UHF放送受信には切換金具の位置は無関係です。

別売のアンテナコネクターEAC-12を使うこともできます。



●75Ω同軸ケーブル（3C-2V、5C-2V）をVHF放送受信に使う場合

①同軸ケーブルを処理する。



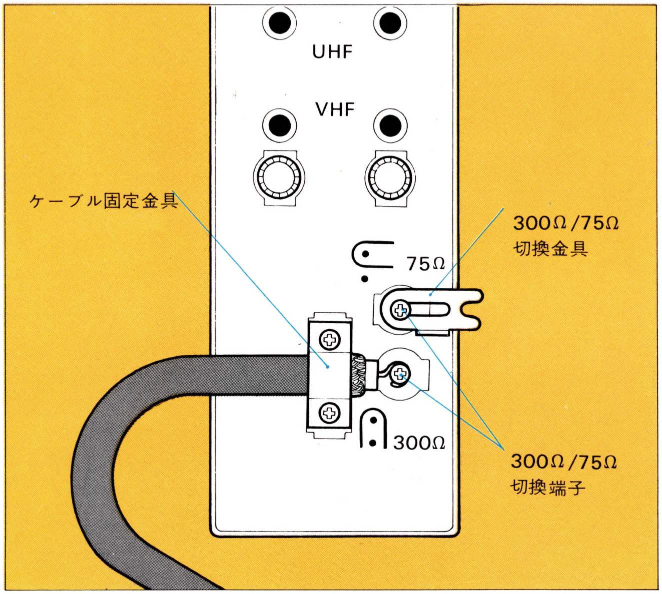
②ケーブル固定金具と300Ω／75Ω切換金具のネジをドライバーでゆるめる。

③切換金具を右上へずらし、ネジをしめて固定する。

金具がケーブル固定金具に接触しないように注意する。

④同軸ケーブルを固定金具に通してから芯線を切換端子のネジにまきつけてネジをしめる。

ケーブルの編組を固定金具でしっかり固定する。



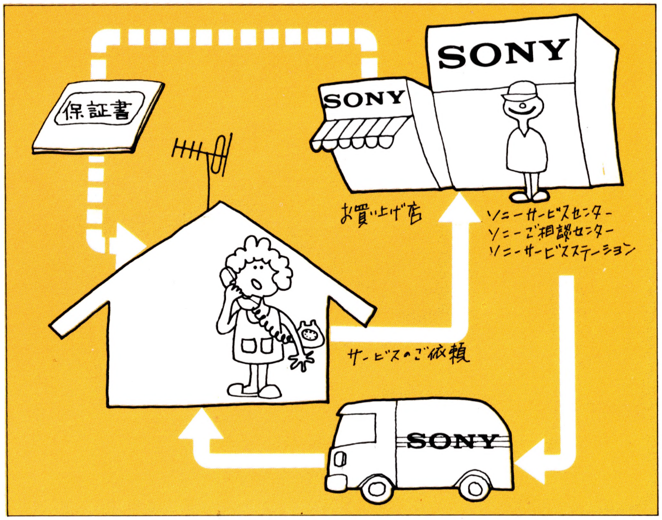
アフターサービスと保証書について

ご購入の際、必ず保証書をお受け取りください。保証書に、お買い上げ店名、住所、お買い上げ年月日が記入されているかどうかお確かめください。

万一故障の場合は、お買い上げ店、または添付の「サービス窓口のしおり」にあるもよりのソニーサービスセンター、サービスステーション、ご相談センターへご連絡ください。

正常な使用状態のもとで発生した故障については、保証書の記載内容に基づいて修理いたします。

但しアンテナの修理、点検は保証対象外です。



114°広角トリニトロンの特長

ソニーが開発したトリニトロンカラーテレビ。
この画質をさらに高めることを徹底的に追求した結果、世界で初の114°広角カラーブラウン管が誕生、今までよりもさらに鮮明な色ずれのない画像が得られるようになりました。
広角化の成功は、トリニトロンブラウン管のすぐれた特長である4要素「1ガン3ビーム方式」「大口径電子レンズ」「アパチャーグリル」「細ネック」に支えられていると言えます。

1ガン3ビーム方式

普通3本ある電子銃がトリニトロンではわずか1本、赤、緑、青の3本の電子ビームを同時に水平に発射します。この単純化された機構によって、ビームの発射点（電子銃）を到着点（蛍光面）に近づけて解像度をあげることに成功しました。広角化とは、この電子銃を蛍光面に近づけることなのです。114°ブラウン管は、従来の90°ブラウン管に比べてレンズから蛍光面までの距離は70%に短縮され、今までよりもさらにくっきりした画像が得られます。

大口径電子レンズ

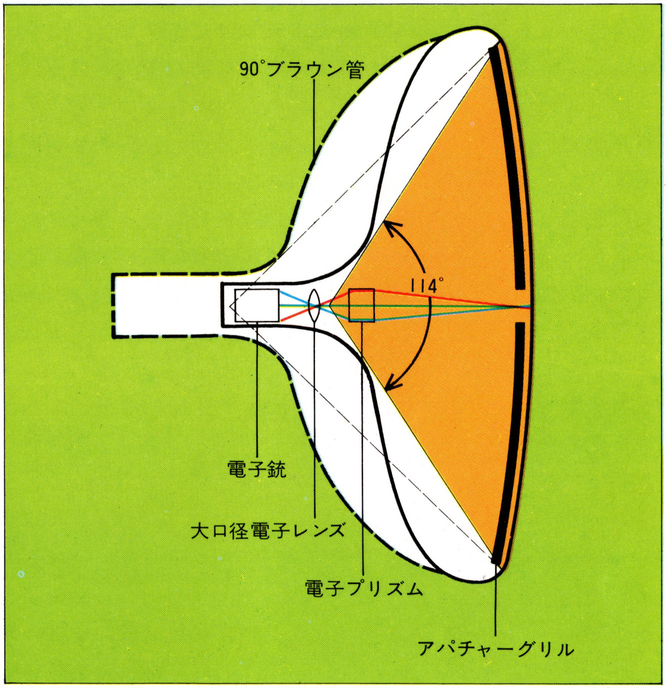
トリニトロンでは電子銃が1本のため、大口径電子レンズが使えます。焦点深度の深いこのレンズにより、中央部分も周辺部分も鮮明な画面になります。広角化のためにスミがぼやけるということもありません。

アパチャーグリル

新方式の色選別機構「アパチャーグリル」は他のカラーブラウン管より電子ビームを30%も多く通すので明るい画面になります。蛍光面はストライプ構造、きめの細かい画像が得られ、地磁気の影響による色ずれをおこすこともありません。

細ネック

電子銃が1本のため、ブラウン管のネックの口径は小さくてすみます。この細ネックとソニー独自の小型軽量偏向ヨークとを組み合わせ、世界で初めてカラーテレビに新半導体G·C·S（Gate Controlled Switch）を採用することに成功しました。これにより、広角化に伴う偏向電力の増大をおさえることができました。



トリニトロン（TRINITRON）は三位一体を意味するTRINITY（トリニティ）と、電子を意味するELECTRON（エレクトロン）を語源として作られたソニー株式会社の登録商標です。

主な規格

受信方式	NTSC方式
カラー再生方式	トリニトロン方式
受信チャンネル	VHF 1～12チャンネル
	UHF 13～62チャンネル
アンテナ	VHF、UHF 300Ω外部アンテナ端子
	VHF 75Ω同軸ケーブル用端子
	VHF 300Ω／75Ω切換金具つき
ブラウン管	トリニトロン114°偏向18型
半導体	IC 7個、トランジスタ26石
	ダイオード33個、GCS 3個
スピーカー	12×8cm
音声出力	1.5W
電源	AC 100V, 50／60Hz
消費電力	135W（プレヒート時 6W）
大きさ	556×413×381mm（幅×高さ×奥行）
重さ	25.5kg
付属品	イヤホン

本機の規格および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

別売アクセサリー

VHF用室内アンテナ	AN 22-J2	¥2,800
UHF用室内アンテナ	AN-55E	¥1,650
アンテナコネクター	EAC-12	¥200
アンテナスタンド	ANH-2	¥950（AN-55E用）
テレビスタンド	SU-33	

4-495-455-**01** (1)

ソニー株式会社

Tokyo Japan ©